国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.
Press Release

令和８年11月24日
国土交通省関東地方整備局
港湾空港部

「第１８回 物流効率化に関する荷主意見交換会」を開催しました

京浜港物流高度化推進協議会における活動の一環として、京浜港における物流の効率化・高度化に向けた取り組みを効果的に進めるべく、国際海上コンテナ輸送を利用する荷主企業との意見交換会を開催しました。

京浜港物流高度化推進協議会は、学識経験者、京浜港に関係する事業者団体及び行政の関係者等により構成し、京浜港の競争力強化や背後圏での物流の高度化に向けた課題解決を図るための様々な取り組みを行っています。

同協議会における活動の一環として、京浜港における物流の効率化・高度化に向けた取り組みを効果的に進めるべく、京浜港を利用する荷主企業との意見交換会を平成１９年より実施してきました。

この度、令和８年１１月１０日（火）に、荷主企業９社と関連する物流事業者４社の計１３社及び、東京都、川崎市、横浜市、横浜川崎国際港湾株式会社にご参加頂き、１８回目となる意見交換会を開催しました。

今回の意見交換会では、国・港湾管理者・港湾運営会社から、京浜港における物流を取り巻く状況や各種取り組みについて説明し、認識共有を図るとともに、荷主企業の皆様から、物流効率化にあたっての課題や取り組み等についてユーザー視点からの多くの貴重なご意見を頂きました。

＜発表記者クラブ＞　竹芝記者クラブ　神奈川建設記者会　横浜海事記者クラブ　物流専門紙
その他専門紙

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局　港湾空港部
電話：０４５－２１１－７４３７　　メールアドレス：info-i83ab@mlit.go.jp
港湾高度利用調整官　佐藤（さとう）（内線：５９４５）
クルーズ振興・港湾物流企画室長　久保（くぼ）（内線：５７２９）
課長補佐　本田（ほんだ）（内線：５７７３）

別紙

京浜港物流高度化推進協議会
「第18回物流効率化に関する荷主意見交換会」開催結果

■開催日時　令和 8 年 11 月 10 日（火）　14:00～16:00

■開催場所　横浜第 2 合同庁舎 14 階

■開催形式　対面及び WEB 併用会議

■参　加　者

・荷主企業　（五十音順）

計 13 社　（※荷主企業に関連する物流会社）

いすゞ自動車株式会社

花王株式会社、三井倉庫株式会社（※）

株式会社クボタ、みなと運送株式会社（※）

スリーエム ジャパン イノベーション株式会社

日産自動車株式会社

株式会社ニトリ

日野自動車株式会社、日野グローバルロジスティクス株式会社（※）

本田技研工業株式会社、株式会社日新（※）

株式会社 LIXIL

・行政関係

関東運輸局交通政策部

関東地方整備局港湾空港部

東京都港湾局

川崎市港湾局

横浜市港湾局

横浜川崎国際港湾株式会社

■議　　事

（1）京浜港における物流を取り巻く状況について（関東地方整備局）

（2）物流DXの推進に向けた最近の動向について（関東運輸局）

（3）東京港における物流効率化の取組について（東京都）

（4）YKIP 概要と横浜港と川崎港の集貨支援策（横浜川崎国際港湾株式会社）

（5）意見交換

■荷主企業からの主なご意見

1. ターミナルの混雑対策について

〇他社と連携したコンテナラウンドユースやインランドデポの活用などに加えて、東京港において実証中のオフピーク搬出入の活用も検討したい。

〇先日、一部ターミナルにおいて、蔵置場所の不足により空コンテナの返却を一時停止する事態が生じた。今年の年末年始の港湾荷役の動向を気にしている。

〇ターミナルに円滑に出入りできるよう、搬出入の平準化だけでなく、ターミナル内の混雑解消を進めることを要望する。陸運事業者では、深刻な混雑が発生したターミナルを敬遠する心理が残っている。

〇海外では 24 時間 365 日稼働しているターミナルがある中、船社に選ばれる港湾を目指すため、ターミナルの稼働時間を延ばすことを要望する。

2. CONPAS®の運用について

〇搬出入予約制度について、原則予約の場合は希望の予約枠が取れなくなることを懸念している。余裕のある予約枠の設定を要望する。

3. 鉄道輸送について

〇片道のみでは運賃が高くなってしまうため、コンテナラウンドユースと組み合わせることで効率的な輸送ができる。輸出企業と輸入企業との連携が効果的。

〇貨物駅と荷主拠点間の輸送では、複数社共同でトレーラーをチャーターし、1日あたりの短距離陸上輸送の回数を増やすことでコストメリットが見込める。

〇現状は輸送できる量が限られているため、便が取れない懸念がある。今後の輸送量の増加に期待している。

〇現状はコンテナヤードと駅が離れているため、短距離陸上輸送が必要。コンテナヤード内に直接線路を引き込むことなどのインフラ整備を要望する。

【意見交換会の開催状況】

